

## 排水対策の徹底で茎数確保！

出芽苗立の不良や初期生育が悪く、生育量が不足しているほ場が多く見られます。生育回復のため、排水対策の徹底と12月中旬までに追肥を施用して下さい。



排水不良により生育量が不足しているほ場

寒くなると肥料の効果が出にくくなります。遅れずに追肥しましょう。

### 1. 排水溝の点検について

10月下旬以降、雨が多いため、排水溝が崩れているほ場が多数あります。

**排水溝を点検し、連結等の補修作業を行い、停滞水を排除して茎数確保又は増加に努めましょう。**

**特に播種時期が遅くなったほ場では、排水対策を徹底し、生育量の確保に努めましょう！**



圃場に水たまりを見つけたら  
ただちに排水を！！排水溝と  
しっかり連結させましょう！



### 2. 年内追肥について

#### (1) 分施肥体系

**葉が黄化する前（播種1カ月後）に追肥**を行い、生育促進による茎数確保に努めてください。  
肥料を切れさせないことが収量アップの決め手です。

追肥時期	肥料名	10a 当たり施用量
～12月中旬まで (播種1カ月後)	<b>硫 安</b>	<b>10kg</b> (窒素：2kg)

#### (2) 基肥一発体系

##### 原則追肥不要

※ ただし、湿害により黄化した場合、排水対策を徹底した上で12月中旬までに硫安5kg/10a施用してください。